

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	玄関に施錠がされ、共用空間に繋がる引き戸も施錠が行われている。利用者が希望した時に外に出ることに支障をきたしている。	利用者が外に出ることを希望した時に出られる支援を目標にし自由な生活を送れるように工夫する。	施錠しないで常時開放を目標に、日中の時間帯で短時間から開放をする。段々と開放時間を延ばしていく。	1ヶ月
2	26	定期的な介護計画の作成と見直しは実施できているが、小さな変化にも配慮された随時の介護計画の見直しが必要である。	小さな変化にも配慮し、毎月行われているモニタリングを基に現状に即した介護計画の見直しを行う。	毎月のモニタリングやケース会議を活用し、変化に即時に対応できるよう毎日のミーティングにおいて計画の見直しの必要性を検討する。必要時にはすぐに介護計画の見直しを行う。	直ぐに
3	35	災害対策として、自主避難訓練の実施や備蓄飲食料を用意する必要がある。	職員と利用者がスムーズに避難できるように自主避難訓練の増加と災害備蓄用の飲食料を用意する。	毎月自主避難を行い、全員の職員がスムーズに避難誘導できるように行う。災害備蓄については施設内所定の場所に利用者、職員分の数日の備蓄の用意(利用者の食べやすいもの)考慮する。	1ヶ月
4	45	入浴を楽しむことが出来るよう、希望時の入浴の提供が求められるが、現状は利用者ごとに曜日設定を行い、決められた曜日での入浴となっている。	時間や曜日等、個人の要望に応じた入浴の提供を行う。	決められた入浴日、時間に限らず利用者の要望に応えられるように入浴の提供を行う。	直ぐに
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。